

庄内川のアユを見守っています。

30年以上
見続けています矢田・庄内川を守る会
宮田 照由 会長

矢田川・庄内川を30年以上見続けています。「住民と企業と行政が三位一体とならなければ川はきれいにならない」と言い続けて企業や行政とも協力し合い、また「また庄内川は一本」と上流から下流まで多くの人々の協力も得ながら運動を進めまいりました。

まだまだ食べるにはほど遠いけれどもアユも生息しサツキマスやアユカケも確認されるようになった庄内川・矢田川。

テレビ等でも報道され市民の関心も少しずつ川に向けられ、子供たちが川で遊び、魚釣りを楽しむ親子の姿が見られるようになりました。しかし水質に関してはまだまだ最悪の状態です。

この現状から一歩でも改善するようがんばっていきます。

いつまでも愛される
川でいてほしい中日スポーツ報道部
柳沢 研二

矢田川では秋には、20cm以上のアユが多く確認できたので、エサは豊富なようです。矢田川には底石がほとんど無いことや川底に変化がないことなど、アユにはあまりよい環境とはいえません。捨ててある古タイヤに、はみ跡があるくらいです。水質と合わせてこのあたりが改善されていけば、友釣りも出来るようなすばらしい環境になっていくと思います。

都会の中でアユが釣れる貴重な川として市民に認識され、いつまでも愛され続けることを望みます。

遡上にどのような
効果があるのか楽しみ清須市建設部
荒木 紀人 部長

アユの遡上について堰による問題点や改善点をいろいろな立場の方々と話し合い、改善が実行できたことは非常に有意義だったと感じています。

今回のような調整や現場改良が遡上にどのような効果があるのか非常にたのしみなところです。

堰の本来目的である用水の確保のみでなく、河川に住む生物をも意識した管理にはきめ細かな対応が必要となり、調整事項も多く簡単なものではありませんが、多様な生物環境の確保が進めていければと考えています。

河川環境の
保全を考えて名古屋市河川計画課
佐藤 正 課長

今回の現地視察・検討の中では利水機能だけでなく河川環境保全全般にわたって議論できる機会であったと感じています。ちょっとした工夫がアユの遡上にどのような効果をもたらすか非常に興味があるところです。

今後も出来る範囲で河川環境の保全を考えていければと考えています。

全国のアユの遡上状況は下記のHPで確認できます。

アユの遡上前線

検索

http://www.mlit.go.jp/river/toukei_chousa/kankyo/ayu/index.html



鮎が還る川

庄内川の歴史とアユ

高度成長期は白く濁る川でした。
現在では水質が改善され、
昔のような川によみがえりつつあります。



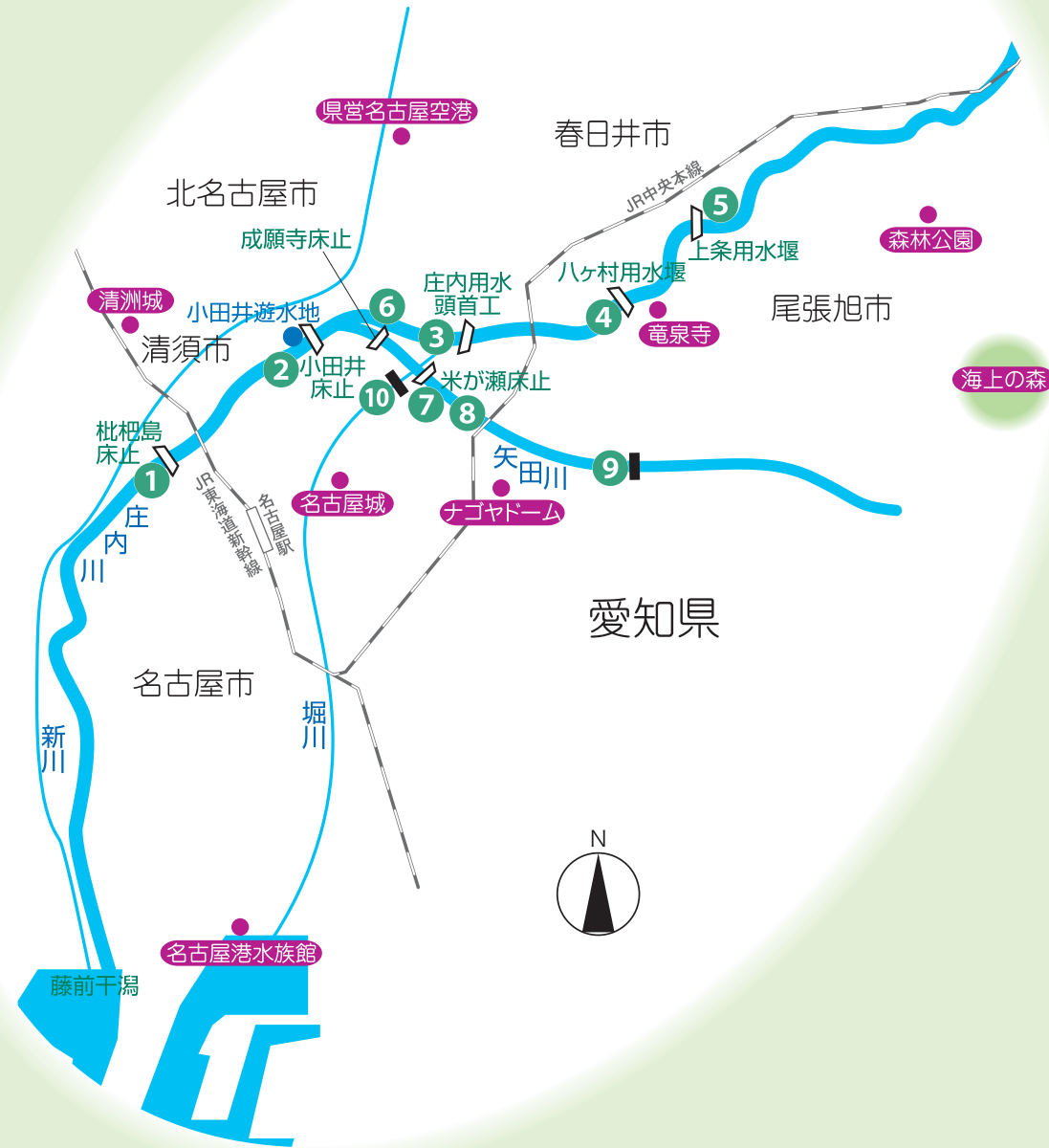
上流域では陶器産業の燃料(薪)として山林を伐採(海上の森付近)



かつての庄内川
(河口から4.8km地点/松陰公園)



白く濁る川
(河口から3.2km地点/明徳橋付近)



アユの目撃情報

- | | |
|---|--|
| <p>① 枇杷島床止
H21.3.15/遡上確認できず。
H21.4.2/遡上初確認(3匹)。</p> <p>② 小田井床止
H21.4.29/床上でアユがはねはじめる。
H21.5.2/本格遡上300匹/日。
H21.4.29/大量の遡上を再度確認。</p> <p>③ 庄内用水頭首工
H21.6.26/はみ跡確認。</p> <p>④ 八ヶ村用水堰
H21.5.16/はみ跡確認。</p> <p>⑤ 上条用水堰
H21.6.14/はみ跡確認。
H21.9.12/婚姻色のアユ確認。</p> | <p>⑥ 成願寺床止
H21.5.3/確認できず。</p> <p>⑦ 米が瀬床止
H21.5.5/遡上初確認。</p> <p>⑧ 天神橋
H21.5.24/はみ跡確認。
H21.10.18/120匹の落ちアユ確認、婚姻色。</p> <p>⑨ 香流川合流点
H21.6.13/はみ跡確認。
H21.6.14/婚姻色のアユ確認、婚姻色。</p> <p>⑩ 堀川
H21.11.15/猿投橋の下流で落アユ確認。</p> |
|---|--|

あなたも参加してみませんか!?

- だれもが参加できる調査とします。
庄内川や矢田川でアユを目撃されましたらアユ目撃シートを参考に情報をお送って下さい! そのほかの情報もメール、ファックス、電話、はがき等なんでも結構です。名前等の記名も必要ありません!
- ▶メールの場合 shonai03@cbr.mlit.go.jp
- ▶ファックスの場合 052-914-6784
- ▶電話の場合 052-914-6924
- ▶はがきの場合 〒462-0052 名古屋市北区福德町5-52

平成21年度 庄内川・矢田川アユ遡上調査	
アユ目撃シート お返ししていただくのは、解る内容のみでOKです。	
目撃日時	月 日
目撃場所	付近の住所
	周辺の橋の名前
	周辺の目印となる構造物等
	川のどのあたりに 下流を向いて 右岸 ・ 左岸 ・ 中程
目撃状況	何匹ぐらいでしたか
	どんな状況でしたか
その他情報	
FAX: 052-914-6947 庄内川両川事務所 行	

目撃シートを使って情報をいただきます。

- 調査結果は素早く公表します。
調査結果・皆様からいただいた情報はHP上で集約、公表し皆で共有できるようにします。
<http://www.cbr.mlit.go.jp/shonai/oshirase/oshirase/ayu/index.html>
- シーズンを通じて調査します。



いただいた情報はHP内のアユ遡上マップに都度掲載していきます。

調査結果

- 21年度の調査では、4月下旬からゴールデンウィークにかけて、確認数が1日あたり300匹にも達していました。
- 庄内用水頭首工では大きく減少しました。
- 八ヶ村用水堰でははみ跡のみ確認されました。
- 矢田川では庄内川よりも少し遅れて遡上が始まりました。秋にはスポーツ紙の釣り欄で紹介されるくらいの反響がありました。



産卵前の婚姻色の鮎(矢田川にて)

調査結果を受けて小田井床止の直ぐ上流にある山西用水堰について、市民と関係者による「山西用水堰意見交換会」が組織されました。
現地調査や検討会を進め「魚道の改善」「適切なゲートの操作」「寄州の撤去」「市民による遡上調査」を実施しました。
今後も、市民による遡上調査を継続して行うことをきめました。



2月の意見交換会の様子

横断工作物

横断工作物は川底を安定させたり、農業用水を取るための施設(堰)です。
横断工作物にはアユが上りにくいものもあり、アユの生態にも影響が大きいです。

高い水温

庄内川は、下水の処理水や工場の排水が多く流れ込み、一年中水温が高くなっています。
これはアユにとっては住みにくい環境です。

落ちアユ、婚姻色

夏の頃、若魚では灰緑色だった体色が、秋に性成熟すると橙と黒の独特の婚姻色へ変化します。
成魚は産卵のため下流域への降河を開始しますが、これを「落ちアユ」といいます。



はみ跡

アユが岩石表面の藻類をこそげ取ると岩の上に紡錘形の独特の食べ痕が残ります。これを「はみあと(食み跡)」といいます。

